

第67期

( 2024年1月～2024年12月 )

# 環境経営レポート

## ■ 目次

1. 組織の概要
2. EA21推進組織図及び役割責任
3. 対象範囲
4. 環境経営方針
5. 環境経営目標とその実績
6. 環境経営計画と実施状況の評価 及び次年度の取組内容
7. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無
8. 代表者による取組結果の評価

2025/04/01作成

株式会社コプレック

## ■ 1 . 組織の概要

### 1 . 会社概要

商号	株式会社コプレック
所在地	〒436-0026 静岡県掛川市下垂木2 3 6 1
TEL	0537-24-5280
FAX	0537-24-3743
URL	<a href="http://www.coprec.co.jp">http://www.coprec.co.jp</a>
代表者	代表取締役 小林永典
資本金	1000万円
従業員数	65人（2023. 04. 04現在）
事業内容	多品種・少量・短納期による精密板金加工。太陽光発電事業



### 2 . 環境管理責任者氏名及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者	小林永典
TEL	0537-24-5280
FAX	0537-24-3743
MAIL	<a href="mailto:info@coprec.co.jp">info@coprec.co.jp</a>

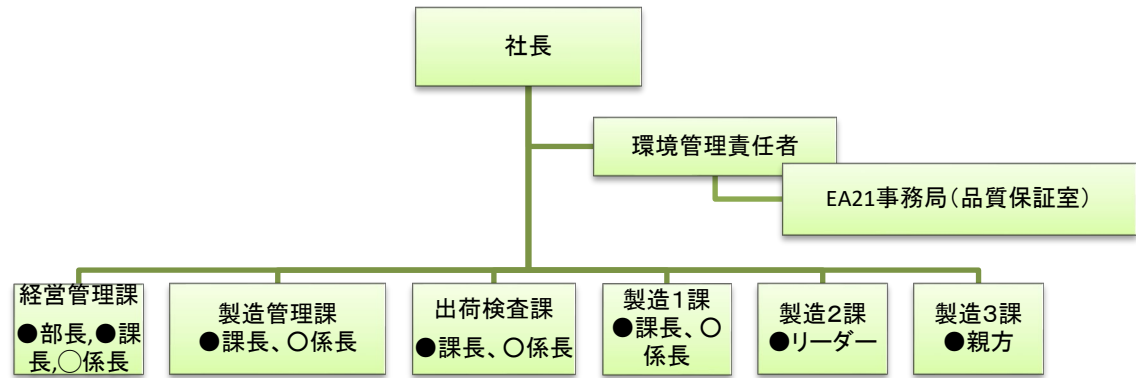
### 3 . 事業の規模

事業項目	単位	2022	2023	2024
従業員数	名	65	65	63
事業所の面積	土地	m <sup>2</sup>	11, 085	14, 590
	建物	m <sup>2</sup>	6, 482	7, 083
発電量	kwh	181, 546	181, 546	181, 546

### 4 . 沿革

1951年	創業（掛川市城西）
1958年	有限会社に改組
1968年	株式会社に改組「株式会社小林プレス」
1969年	現在地に移転（掛川市下垂木）
1980年	◎金型工場新築
1983年	◎プレス工場増築
1984年	◎板金工場・食堂・会議室新築
1987年	小林康男 社長就任（現会長）
1990年	◎組立工場新築・プレス工場・事務所増改築
1992年	社名変更「株式会社コプレック」
1998年	◎新板金工場 新築
2004年	◎事務所増改築
2006年	エコアクション21の取組みを開始
2007年	ISO9001を取得
2013年	小林永典 社長就任（現社長）
2015年	◎西5 工場新築
2018年	◎食堂を改築
2019年	ISO9001を返上
2019年	◎事務所と西2 工場を建替
2023年	◎西6工場を新設

R07. EA21推進組織図及び役割責任



■役割と権限

社長

- ・全体の評価と見直し
- ・環境方針の作成を行い、全社に周知徹底する。
- ・環境方針、環境目標達成するための資源(ヒト、モノ、カネ)の準備を行う。
- ・環境管理責任者が設定した環境目標の承認を行う。
- ・環境管理責任者の任命をおこなう。
- ・品質保証室のメンバーの任命を行う。

環境管理責任者

- ・環境目標の作成を行い、社長の承認を得る。全社に周知徹底する。
- ・環境管理システムの構築、推進を行う。
- ・環境活動レポートを作成する。
- ・環境法令の確認、遵守状況の確認を行う。

EA21事務局

- ①法規制等の把握及び監視測定、届出等、法規制等のすべて
- ②EA21マニュアルの見直し・改定
- ③環境活動レポートの作成・維持
- ④環境活動計画の実績把握
- ⑤教育・訓練の実施及び記録
- ⑥その他環境管理責任者の支援

部長・課長相当

- ・環境目標を元に、チームメンバーと共に環境活動を行う。その実施責任を持つ。
- 是正処置の実施を行う。

係長

- ・課長を補佐する。
- 課長が不在の場合、課長を設定していない場合には
- ・課長と同様の活動を行う。

## ■ 2 . 対象範囲

### 1 . 認証登録範囲

全事業所、全従業員による全活動

### 2 . レポート の対象期間および発行日

対象期間	2024年1月～同年12月
発行日	2025年4月1日

# 株式会社コプレック 環境経営方針

## 【環境理念】

私達人類が持続可能な発展を遂げるために、「次世代以降に資源・地球環境を残すこと」が社会共通の課題であり、また企業の社会的責任であることを認識し、積極的な環境活動を行う。

## 【環境方針】

### 【1 省資源・省廃棄】

資源の柱を3つにわけ考える。

#### ①エネルギー（CO2の削減）

エネルギーを消費することによりCO2が発生する。  
CO2を削減するために、エネルギーの「使用量を削減し」  
エネルギーの「使用方法を見直し」CO2の発生量を削減する。

#### ②水（節水）

水の使用量を削減する。

#### ③物質（廃棄物の削減）

- a. 不良品の削減  
不良発生による再作成のための資材や  
エネルギーなどの資源はとても大きい。  
不良削減は営業的にも環境的にも重要なテーマである。
- b. 資源は効果的に投入する  
不必要な物を投入すると、それは廃棄物になる。  
廃棄物の量を削減するために、効率向上で必要量を削減→  
投入量を削減→環境考慮の処理方法を行い廃棄物の削減に努める

### 【2 グリーン購入・環境配慮製品の生産】

グリーン対象製品を積極的に購入する。

環境に配慮した製品を生産する。

### 【3 管理体制の整備】

環境管理体制を整備し、環境経営の継続的な改善に努める。

### 【4 法規の遵守周知徹底】

環境関連法規、条例及び当社が規定したその他事項を遵守する。

### 【5 周知徹底】

この方針は全従業員に周知徹底し、その実施および達成に努める。

株式会社コプレック  
代表取締役社長

小林永典

2008/01/01 制定

2022/05/05 改定

R16-05. 環境経営目標とその実績( R05環境目標実績)

対象期間( 2024/01～2024/12)

番号	環境経営目標項目	2024							2025年予定		2026年予定		2027年予定	
		指標	目 標		実績		対目標比		目標策定基準	目標	目標策定基準	目標	目標策定基準	目標
			目標策定基準	目標	実使用量	実績								
1	電力使用量の削減 ( CO2排出量の削減)	電力 使用量	2017年実績の 6%削減	0. 377	464, 794 kg-CO2	0. 277	売上金額 千円当 CO2排出量	73. 52%	2017年実績の 7%削減	0. 373	2017年実績 の8%削減	0. 369	2017年実績 の9%削減	0. 365
2	燃料使用量の削減 ( CO2排出量の削減)	軽油	2017年実績の 6%削減	0. 017	24, 588 kg-CO2	0. 015	売上金額 千円当 CO2排出量	88. 90%	2017年実績の 7%削減	0. 016	2017年実績 の8%削減	0. 016	2017年実績 の9%削減	0. 016
3		ガソリン	2017年実績の 6%削減	0. 003	4, 038 kg-CO2	0. 002	売上金額 千円当 CO2排出量	80. 26%	2017年実績の 7%削減	0. 003	2017年実績 の8%削減	0. 003	2017年実績 の9%削減	0. 003
4		灯油	2017年実績の 6%削減	0. 006	4, 610 kg-CO2	0. 003	売上金額 千円当 CO2排出量	47. 74%	2017年実績の 7%削減	0. 006	2017年実績 の8%削減	0. 006	2017年実績 の9%削減	0. 006
	二酸化炭素排出量 総量	Kg-CO2	2017年実績の 6%削減	478, 013	498, 030 kg-CO2	498, 030	Kg-CO2	104. 19%	2017年実績の 7. 0%削減	472, 928	2017年実績 の8. 0%削減	467, 843	2017年実績 の9. 0%削減	462, 758
5	上水道使用量の削減 ( 総排水量の削減)	上水 使用量	2017年実績の 6%削減	2. 820	3, 584 L	2. 139	売上金額 百万円当 m3	75. 84%	2017年実績の 7%削減	2. 790	2017年実績 の8%削減	2. 760	2017年実績 の9%削減	2. 730
6	紙の排出量の削減	リサイクル ル排出紙	2017年実績の 6%削減	2. 632	3, 750 kg	2. 238	売上金額 百万円当 kg	85. 02%	2017年実績の 7%削減	2. 604	2017年実績 の8%削減	2. 576	2017年実績 の9%削減	2. 548
7	サービスにおける環境 配慮: 歩留まり 率の向 上	購入材に 対してス クラップ 率	2017年実績の6 ポイント 削減	33. 82%	スクラップ: 1, 538 t 購入量: 4, 046 t	38. 00%	スクラップ 率%	-4. 18	2017年実績の7 ポイント 削減	26. 88%	2017年実績 の8ポイント 削減	25. 88%	2017年実績 の9ポイント 削減	24. 88%
8	グリー ン 購 入 の 推 進	全体への 啓 蒙	---	---	---	---	---	---	これまでの推進で購入物が定常化されており、グリー ン 購 入 が 定 着 さ れ て い る た め、取 り 組 み だ け 行 う。					
9	地域社会の環境保全活 動の推進( 清掃活動)	地域清掃 回数	回数	1回		1回	回数	100%	1回／年		1回／年		1回／年	

\* 2017年度 中部電力 実排出係数 0. 476Kg-CO2を使用しました。

評価 ( 是正処置含む)	<p>概ね全ての目標を達成している。電気使用量は効率的な加工選定で加工を行っていることが良い結果に繋がっていると思われる。 2025年の1月より、一部電力を「グリー ン 電力」を使用しているため、より一層のCO2削減が進むと考えられる。 歩留まり率に関しては業務内容により適正值が変わるものではあるが、引き続き改善に努めていく。</p> <p>昨年同様、材料費の高騰には注意が必要である。材料費が高騰すると販売単価も上がり、同じ加工量でも売上金額が上がる傾向にある。 よって、売上金額当りのCO2排出量は上がった売上金額で薄まっている可能性がある。詳細は計算しきれていないが、その可能性を踏まえて活動を進める必要がある。</p>
-----------------	--

# R06. 環境経営計画と実施状況の評価 及び次年度の取組内容

( 対象期間: 2024/1～2024/12)

目標	実施計画																	
	目標管理のための取組項目	責任者	管理項目	実施予定タイムテーブル												上段： 実施状況		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	下段： 評価と次年度との取組内容		
1．電気使用量の削減	1-1.エアー漏れの確認と改善	青山友和	スケジュール						実施						実施	全体朝礼や掲示板での啓蒙を行った。漏れは発見次第塞いだ。		
			進捗チェック						実施						実施	これまでの活動の成果か、今年は漏れがほとんどなかった。次年度も継続		
	1-2.グリーン電力の推進	青山友和	スケジュール												実施	グリーン電力の推進		
			進捗チェック												実施	申込みは完了した。来年初頭から実施される見込み		
	1-3.照明機器の見直しと改善	青山友和	スケジュール						確認	実施				確認	実施	省エネで照度も高くなり良い		
			進捗チェック						確認	実施				確認	実施	継続する		
	1-4.未使用加工機の節電PR	小林永典	スケジュール						実施								習慣づけが定着されている	
			進捗チェック						実施								自動化も進めているので効果が出ている	
2．燃料使用量の削減	2-1.運転の仕方の啓蒙	小林永典	スケジュール					実施						実施		社内での勉強会を行い、啓蒙とデータ収集をおこなった		
			進捗チェック					実施						実施		経営計画書（ブルーブック）に一部記載		
	2-2.効果的なヒーター使用の啓蒙	小林永典	スケジュール											実施		啓蒙を行っているが、人間の体調が崩れては本末転倒なので、		
			進捗チェック											実施		28℃20℃といった、意味のない設定温度の指定はやめた。継続		
3．水使用量の削減	3-1.節水PRラベルの掲示	小林永典	スケジュール					実施							実施	ラベル掲示を実施。		
			進捗チェック					実施							実施	毎日の使用量チェックが完全に仕組み化されている。無駄な漏水に気づけるようになった。次年度も継続実施		
4．廃棄物の削減	4-1.不良品の削減	小林永典	スケジュール	実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	不良発生時の扱いを随時変更。		
			進捗チェック	実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	量が減ってきている。次年度も継続実施		
5．製品・サービスに於ける環境配慮		小林永典	スケジュール	実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	エネルギーの効率利用や廃棄物削減を朝礼などで啓蒙している		
			進捗チェック	実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	エネルギーの効率利用や廃棄物削減の意識が浸透してきた。継続		
6．グリーン購入の推進		小林永典	スケジュール	実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	経営計画書に地球環境に関するセクションを追加		
			進捗チェック	実施	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	次年度以降、随時内容を追加していく		
7．地域社会の環境保全活動の推進	5-1.工場周辺の清掃活動の実施	鈴木雄二	スケジュール									実施			実施	環境整備活動の月次計画に含めた		
			進捗チェック									実施			実施	計画に沿って実施された。次年度も継続実施		
8．教育訓練	6-1.ドキュメントに追加	小林永典	スケジュール			実施										経営計画書（ブルーブック）に地球環境に関するセクションを追加		
			進捗チェック			実施										次年度以降、随時内容を追加していく		



# R16-8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

1 ) 当社に適用となる主な環境関連法規への違反 ( 2025年4月1日現在 / 確認者: 小林永典 )

法規則名	主要な法規制等	順守状況
・循環型社会形成推進基本法 ・廃棄物処理法 ・静岡県環境基本条例 ・静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	①廃棄物の減量化	順守
	②廃棄物の適正処理の確保	
	③地方公共団体の施策への協力	
	④回収又は処分は定められた業者に委託	順守
	①廃棄物の減量化	順守
	②廃棄物の適正処理の確保	
	③産業廃棄物の保管基準の順守	順守
	④廃棄物の飛散・流出・地下浸水の防止	
	⑤産業廃棄物の処理委託基準の順守	順守
	⑥産業廃棄物の委託契約書の記載事項の順守	順守
	⑦産業廃棄物管理票の管理義務	順守
・騒音規制法 ・静岡県生活環境の保全等に関する条例 ・特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	⑧マニフェストの交付状況の報告	順守
	⑨産業廃棄物管理責任者の設置	
	⑩産業廃棄物処理の委託先の実地確認と記録の保存	順守
	⑪不適正な処理に対する措置と県への報告	
・振動規制法 ・静岡県生活環境の保全等に関する条例 ・特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	①特定施設の設置・変更等の届出	順守
	②規制基準の順守義務	
	③特定工場の届出	
	④公害防止管理者及び代理者の選任と届出	
	⑤公害防止統括者及び代理者の選任と届出	
・高圧ガス保安法	①特定施設の設置・変更等の届出	順守
	②規制基準の順守義務	
	③特定工場の届出	
	④公害防止管理者及び代理者の選任と届出	
	⑤公害防止統括者及び代理者の選任と届出	
・消防法 ・電気事業法 ・家電リサイクル法	①指定数量1/5以上、指定数量未満消防署に届出	順守
	②規制基準の順守	
	①電気工作物の保安・維持の責務	順守
	知事に届出	順守
・フロン排出抑制法	①廃棄する場合フロン類回収業者にフロン類を引渡さなければならない	順守
	②行程管理制度遵守 委託確認書の交付 引き取り証明書、契約書	
	③簡易点検	
・自動車リサイクル法	①自動車の長期間使用 ②使用済自動車は引取業者に渡さなければならない	順守
・省エネ法	①エネルギー使用の合理化推進	順守
・水質汚濁防止法 ・静岡県生活環境の保全等に関する条例	①水質基準の順守(油分)	順守
	②貯油施設を設置する事業所から事故により排出される油	
	③事故時知事に届出	
浄化槽法 静岡県浄化槽法施工細則	①浄化槽の届け出 ②浄化槽の清掃、点検義務 ③法定検査(水質基準の順守)	順守

## 2 ) 関係当局、及び地域からの違反、苦情等( 過去3 年間)

環境関連法規等への違反、訴訟等は、過去3年間ありませんでした。  
また、関係当局、及び地域からの指摘や苦情はありませんでした。



## R16-9. 代表者による取組結果の評価

<p>実施状況の全体評価</p> <p>実施日：2025/02/01</p>	<p>1) 全体評価</p> <p>材料費の高騰により売上金額当たりの比較が難しくなっているが、実感値としてはエネルギー効率は良くなってきていると感じる年末より、「グリーン電力」の導入に向けて動いている。これが導入されれば、より一層のCO2削減が進む。</p> <p>引き続き、地球環境に配慮した経営を模索する</p> <p>2) 目標別評価</p> <p>軽油(売上当): 目標達成。商圏が広がっており顧客が遠方になってきているため。トラック導入時に効率的な製品の選択等務める</p> <p>ガソリン(売上当): 目標達成。コロナが開けてきて客先訪問も増えると見られるが改善に務める</p> <p>灯油(売上当): 目標を達成している。引き続き改善に努める</p> <p>CO2排出量(総量): 対目標比104.19%と全体量は微増だが、</p> <p>2017時点と比べ、売上が141.13%に対して、CO2総排出量は97.94%なので、概ね効率化が図られていると見ていだろう</p> <p>水(売上当): 目標を達成している。引き続き改善に努める</p> <p>紙(売上当): 目標を達成している。引き続き改善に努める</p> <p>スクラップ率: 目標を下回った。材料効率は作業効率とのトレードオフな関係でもあるため判断が難しいが、引き続き改善に努める</p> <p>3) 法規制の順守への対応</p> <p>今までも問題はないが、お客様の環境に対する意識は日に日に高まっていくのを感じる。</p> <p>4) その他</p> <p>「環境経営方針」「環境経営目標」「環境経営計画」「実施体制」等の変更の必要性は無いと判断します</p>
--	--